

部会名 美術科部会

神奈川県中学校教育課程研究主題

豊かに感じ取る力を高めることを重視し、生徒一人ひとりの資質や能力の育成を図る学習指導と評価の工夫・改善

提案テーマ

話し合い活動を通じた、豊かな発想と意欲の育成
～作り出したものが10年後も大切にされているような作品作りを目指して～

地区名 座間地区

所属校 座間市立相模中学校

氏名 板羽 沙織

※ 生徒の写真・動画・作品やワークシートなどに関しては、生徒・保護者からの許諾を得て掲載しています。

1. 提案テーマ

話し合い活動を通じた、豊かな発想と意欲の育成

神奈川県中学校教育課程研究主題の趣旨

表現や鑑賞の創造活動を通して、完成や想像力を働かしながらよさや美しさを感じ取り、表現するなどの資質や能力を育て、生活の中の美術の働きや美術文化についての関心や理解を深め、生涯を通じて愛好する態度を育てることが大切である。そのための学習指導と評価の工夫・改善について研究する。

第2学年及び第3学年の目標と内容

- (1) 対象や事象をとらえる造形的な視点について理解するとともに、意図に応じて自分の表現方法を追求し、創造的に表すことができるようにする。
- (2) 自然の造形や美術作品などの造形的なよさや美しさ、表現の意図と創造的な工夫、機能性と洗練された美しさとの調和、美術の働きなどについて独創的・総合的に考え、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。
- (3) 主体的に美術の活動に取り組み創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を深め、心豊かな生活を創造していく態度を養う。

A 表現 (1) イ (イ)

- (1) 表現の活動を通して、次のとおり発想や構想に関する資質・能力を育成する。
 - イ 伝える、使うなどの目的や機能を考え、デザインや工芸などに表現する活動を通して、発想や構想に関する次の事項を身に着けることができるよう指導する。
 - (イ) 伝える目的や条件などを基に、伝える相手や内容、社会との関わりなどから主題を生み出し、伝達の効果と美しさなどとの調和を総合的に考え、表現の構想をねること。

B 鑑賞 (1) ア (イ)

- (1) 鑑賞の活動を通して、次のとおり鑑賞に関する資質・能力を育成する。
 - ア 美術作品などの見方や感じ方を深める活動を通して、鑑賞に関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。
 - (イ) 目的や機能との調和のとれた洗練された美しさなどを感じ取り、作者の心情や表現の意図と創造的な工夫などについて考えるなどして、美意識を高め、見方や感じ方を深めること。

3 内容の取り扱い

- (2) 「A 表現」及び「B 鑑賞」の指導に当たっては、発想や構想に関する資質・能力や鑑賞に関する資質・能力を育成する観点から、〔共通事項〕に示す事項を視点に、アイディアスケッチで構想を練ったり、言葉で考えを整理したりすることや、作品などに対する自分の価値意識をもって批評し合うなどして対象の見方や感じ方を深めるなどの言語活動の充実を図ること。

テーマ設定の理由

生徒の実態から

- ・本校の2学年生徒は素直で授業にまじめに取り組む姿勢がみられる。しかし、自ら発想するということに関しては苦手意識を感じている生徒が多い。
- ・制作後の相互鑑賞会では作品に自信がなく、作品を持って帰ったあとも大切にしようとする姿勢が少ない。

これら2点のことから、以下の仮説を立てた。

【仮説】

話し合いを通して

①発想が広がるのでは

…発想は人によって経験や考え方が違うことを理解し、他の人の意見を聞くことでより視野が広がり、ひらめきを得るきっかけになるのではないかと。制作中に少しの時間でも人に制作のコツや感想を聞くことでより良い作品作りへと意識を変えることができるのではないかと。

②自分の作品に自信を持てるのでは

…作品を作るときに自分の発想を深化させるとともに、制作を肯定してもらうことで自信がわき、愛着が持てるのではないかと。

指導の手立て

- ① ・ アイディアスケッチの時点で、6人班で話し合いをして様々な意見を取り入れたり、聞いたりする機会を設ける。
 - ・ ワークシートを利用して、実際に自分の変化がみられるようにする。
 - ・ 制作の最後のところで、自分と同じテーブルの人(4人班)にアドバイスをもらったり、作品を見せ合ったりする時間をわずかながら設ける。
- ② ・ 意識付けの点では、「今自分になりたいと思う職業の達磨(起き上がり小法師)をつくること。達磨の特徴の七転び八起きのように、将来に向かって頑張る課程で失敗しても何度で起き上がるこの作品をみて努力できるように。」と伝えた。
 - ・ 自分の作品の軸を作れるように制作過程での話し合いを通して、自分の作品について考える機会を設ける。
 - ・ 最後の作品鑑賞の中で自分の作品に自信を持てるように多くの人からコメントをもらえる機会を作る。
 - ・ コメントが本人の手元にも届くように、付箋を利用して貼り付けていくようにする。

研究構想図

学校教育目標

自ら学び考え、豊かな創造力を育み、社会貢献ができる生徒の育成

教科の目標

表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の美術や美術文化と豊かに関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 対象や事象をとらえる造形的な視点について理解するとともに、表現方法を創意工夫し、創造的に表すことができるようにする。
- (2) 造形的なよさや美しさ、表現の意図と工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。
- (3) 美術の創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を育み、完成を豊かにし、心豊かな生活を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。

① 発想が広がる

- ・視野が広がる
- ・他の人の発想の着目点に気付く
- ・自分の考えを深める

研究仮説

②自分の作品に自信がつく

- ・作品への意識づけ
- ・自分が作り出したものに愛着
- ・相互に認め合うことで自己肯定感を得る

話し合い

- ・真面目
- ・発想△

生徒の実態

- ・自己肯定感△
- ・作品への愛着△

美術科学習指導案

座間市立相模中学校

指導者 板羽 沙織

1. 日 時 平成31年 3月5日(火) 第5校時
2. 学年・組・場所 第2学年4組(38名) 3階美術室
3. 題 材 名 「私の小さな分身 ～自分の夢を達磨に託して～」
4. 題材について

(1) 題材観

本題材は日本の伝統的工芸にもある達磨(起き上がり小法師)に自分の夢を託したものを立体作品として制作する。自分の夢を基に主題を生み出し、心豊かに表現する活動である。制作していく中で、自分自身を知り、自分の将来に向けて頑張る姿を何度失敗(転んでも)しても屈せず立ち上がる(七転び八起)にかけて、目標をもって生きる姿を作品に込めさせる。また、仲間が制作した作品を鑑賞し合い、表現の意図や工夫について考え、見方や感じ方を深めさせる。

(2) 生徒観

本校の2学年生徒は素直で授業には真面目に取り組む姿勢がみられる。

しかし、自ら発想するという点に関しては苦手意識を感じている生徒が多い。そのため、いつもは作品完成後にしている鑑賞を途中で取り入れ、意見交換をする時間を設定した。他の人の考え方や、発想するときのポイントなどに触れていくことでお互いに学び合う機会を設けた。また、作品を持って帰った後の保存や作品を持ち運びするときなど、自分で作った作品を大切にしようとする姿勢が少なく感じた。そこで自分の夢を託した分身を作り、完成したときの喜びや愛着というものを大切にできるようにした。

作品を美術という授業だけで完結するのではなく、夢・仕事を通して社会にも目を向けられるようにする。

(3) 指導観

1学期には消しゴムハンコを通したデザインについて学び、実際にあるものを単純化させて、形や色彩などの伝達の効果と美しさを考えて構想することを学んだ。1年次には、発想を豊かに空想缶詰というものを針金と粘土を併用して立体作品を制作した。

それらのことを活かして、材料や用具の特性を生かした達磨制作を目指す。本物の職業の衣装を着ているだけの達磨ではなく、自分で考えたものを取捨選択しながら自分の分身としてアイデアを膨らませていくようにしていきたい。

発想・構想のスケッチの途中で、意見を交流したり、想いを伝えあうことで自分自身の考えがまとまったり、人の意見に耳を傾けてまた違う視点からの発想につながるようにする。それらの話し合い活動により一層作品制作への意識を深くさせると考える。自分の作品に自信を持ってもらうためにも発表の場を設け、肯定的な意見・受け答えができるように言語活動の充実を図っていきたい。

中学2年生では総合で職場体験があり、1年後には進路選択という将来を見据えて考えていく大切な学年でもあると考えた。自分が知っている職種以外にも、さまざまな職種があるということを知ることによって将来への選択肢がより広がると考えた。将来の生き方につなげて考えることで、自分の良さや可能性に気づき、自分の人生や将来、職業について考えていくきっかけになるような指導をしたい。これらの制作課程を経て、作り出したものが10年後も大切にされているような作品作りを目指していく。

5. 題材の指導事項

A 表現(1)イ(イ)

- (1) 表現の活動を通して、次のとおり発想や構想に関する資質・能力を育成する。
- イ 伝える、使うなどの目的や機能を考え、デザインや工芸などに表現する活動を通して、発想や構想に関する次の事項を身に着けることができるよう指導する。
- (イ) 伝える目的や条件などを基に、伝える相手や内容、社会との関わりなどから主題を生み出し、伝達の効果と美しさなどとの調和を総合的に考え、表現の構想をねること。
- (2) 表現の活動を通して、次のとおり技能に関する資質・能力を育成する。

B 鑑賞(1)ア(イ)

- (1) 鑑賞の活動を通して、次のとおり鑑賞に関する資質・能力を育成する。
- ア 美術作品などの見方や感じ方を深める活動を通して、鑑賞に関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。
- (イ) 目的や機能との調和のとれた洗練された美しさなどを感じ取り、作者の心情や表現の意図と創造的な工夫などについて考えるなどして、美意識を高め、見方や感じ方を深めること。

6. 題材の目標

自分の夢の表現方法の構想を練り、創造的に表現する力を育む

7. 題材の評価規準

美術への関心・意欲・態度	発想や構想の能力	創造的な技能	鑑賞の能力
<p>・自分の将来の姿について考え、その職業をより深く追及し、自己の内面を表現することに関心をもち、主体的に心豊かな表現の構想を練ったり材料や用具の特性を生かしたりしようとしている。</p>	<p>・「私の小さな分身」というテーマを基に感性や想像力を働かせて、自己の内面を深く見つめ感じ取ったこと、考えたこと、夢、創造や感情などの心の世界などを基に、主題を生み出し、単純化や省略、協調、材料の組み合わせなどを考え、創造的な構成を工夫し、心豊かな表現の構想を練っている。</p>	<p>・感性や造形感覚などを働かせて、材料や用具の特性を生かし、自分の表現意図に合う新たな表現方法を創意工夫したり、制作の順序などを総合的に考え見通しを持ったりしながら、創造的に表現している。</p>	<p>・感性や想像力を働かせて、造形的な良さや美しさ、作者の心情や表現の意図と創造的な工夫などについて考え、見方や感じ方を深めている。</p>

8. 単元の指導 評価計画（全 11 時間扱い）

時数	学習内容	関心	発想	技能	鑑賞	評価規準
1	オリエンテーション ・達磨について ・自分の夢(なりたい職業)について調べる ・資料集め、印刷など	○				関：日本の伝統文化に関心を持ち、学ぼうとしている。自分の将来に向けて主体的に取り組もうとしている。
2	・アイディアスケッチ 前回集めた資料を基に発想を膨らませ、自分の将来にあった達磨の制作をする。		○			発：自分について考え、テーマをきめてそれに沿った構想を練っている。
3	・中間発表 6 人班に分かれ、自分が作ったアイディアスケッチを見せて発表。聞いている側は質問をする。そのあと各自でアドバイスを書き込む。		○		○	発：友人の作品について考え、自分の作品の表現構想を練っている。 鑑：づくり手の意図や願いなどを感じ取り、自分の価値意識を持って味わっている。
4～ 5	・達磨の形づくり。 新聞紙を使って、達磨の土台となる塊を形成する。 ・起き上がり小法師になるように重りを底面に作る。				○	技：新聞紙を利用して、自分の意図にあった達磨らしい姿を創造的に表現している。
6～ 9	・粘土の色づくり 粘土を練りながら、色を混ぜていく。自分が思っているような色が出せるように混ぜる際の絵の具の調節を工夫する。 ・肉付け アイディアスケッチを参考にしながら、立体という意識をもって制作に取りかかる。 より本物に近づけるために実際に物を作るようにパーツを作ってからつけるという作業を意識させる。 ・制作途中で話し合いをして、自分の作品を振り返る。		○	○		発：創造したことなどを基に主題を生み出し、全体と部分との関係などを考えて表現の構想を練っている。 技：立体という意識をもって表現している。 粘土や用具、将来の夢の表現方法の特性などから製作の順序などを総合的に考えながら、見通しをもって表現している。
10	・背景作り 達磨を置くのにふさわしい背景となるように制作する。		○	○		発：達磨を見た人に伝わるような背景の構想を練っている。 技：達磨を際立たせるような色彩、配置になるように表現している。

11 本時	<p>・作品について鑑賞・話し合い 最初4人班で鑑賞し、その後、 一人がテーブルに残りその机の 発表者なる。</p> <p>その他の人は好きなテーブル を鑑賞しに行く。</p> <p>全員必ず発表者になるように 3回繰り返す。</p> <p>それぞれの席で作品の良いと 思ったところを付箋に記入して 貼り付ける。</p>	○			○	<p>関：様々な方向や観点から作品を鑑賞し、作り手の意図や、願いを感じ取ろうとしている。</p> <p>鑑：形や色彩などの特徴や印象などから全体の感じ、作者心情や意図と相応的な表現の工夫などを感じ取り、自分の価値意識を持って味わっている。</p>
----------	--	---	--	--	---	---

9. 本時の授業

11 時間目 作品についての話し合い、鑑賞

① 目標

主体的に作り手の意図や願いを感じ取ろうと意欲をもって取り組む
自分の想いや考えをもって味わおうとする姿勢を養う

② 実現状況を判断する際の、具体的な生徒の姿

	十分満足出来る(A)	おおむね満足出来る(B)	努力を要する(C)と判断した児童・生徒への具体的な手立て
関心・意欲・態度	・様々な方向や観点から作品を鑑賞し、形や色彩の効果を考え、単純化や省略、強調するなど、洗練された美しさを踏まえて、主体的に作り手の意図や、願いを感じ取ろうとしている。	・様々な方向や観点から作品を鑑賞し、作り手の意図や、願いを感じ取ろうとしている。	・達磨を見るための手がかりや視点を示したり、他の人の意見を通して、作り手の意図や願いを考える面白さに気づかせるようにする。
鑑賞の能力	・夢を表現したダルマとして、形や色彩などの特徴や印象などから全体の感じ、作者の心情や意図と創造的な工夫などについて考えるなどして、美意識を高め、見方や感じ方を深めることができる。	・色や色彩などの特徴や印象などから全体の感じ、作者の心情や意図を感じ取ることができる。	・形や色彩などの特徴や印象を具体的にとらえさせ、それを言葉にしたり、ワークシートにメモをさせるなどして、作品全体のイメージ、作り手の意図や願いなどに気づかせるようにする。

③ 本時の展開

	学習活動	指導上の留意点	評価(観点・場面・方法)
導入 10分	<ul style="list-style-type: none"> •本時の学習内容の説明を聞く。 •プリントの使い方などの説明。 	<ul style="list-style-type: none"> •説明が多くなるので、視覚的にもわかるように、手元に置くプリントと黒板でわかるように用意しておく。 	
展開 30分	<ul style="list-style-type: none"> •学習班(4人)の中でそれぞれの達磨を回して、鑑賞していく。 •それが終わったら、班内で共有する。 •学習班に一人残し、それ以外の人とは別の机に行って、発表者の話を聞く。 •発表者の話の後は、他の3人が、それぞれ4体の達磨のいいところを発表し合って付箋に貼る。 •一周発表が終わったら自席に戻り、自分の作品の良いところが貼られた付箋を見る。 	<ul style="list-style-type: none"> •必ず一回は全員発表するので、それぞれ書くことと、人のいいと思ったコメント等もメモしておくように伝える。 •机間指導をしながら、わかっていない子への支援をする。また、わかっている人は教えてあげるように伝える。 •時間を気にしながら発表できるように、テレビとつないで、カウントダウンをするが、支援を必要とする生徒にとっては集中できなくなってしまう可能性もあるので、音量に気を付ける。 •時間が短いので、その間のタイムキーパーを最初の発表者が行うよう指示する。 •本人が読むのでもらった時に嬉しいコメントを書くように伝える。 	<p>【関心・意欲・態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> •様々な方向や観点から作品を鑑賞し、作り手の意図や、願いを感じ取ろうとしている。 (机間指導、ワークシート) <p>【鑑賞の能力】</p> <ul style="list-style-type: none"> •色や色彩などの特徴や印象などから全体の感じ、作者の心情や意図を感じ取ることが出来る。 (机間指導、ワークシート)
まとめ 10分	<ul style="list-style-type: none"> •振り返りの紙を記入する。 	<ul style="list-style-type: none"> •自分がもらったコメントやプリントを見ながらこれまでの制作を振り返る。 •今までのプリントを回収する。 	

今回使った材料

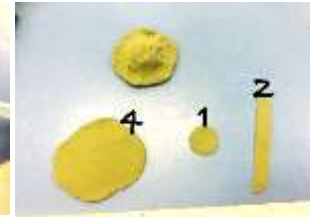
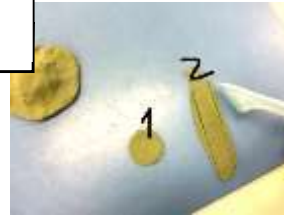
- 新聞紙
- ボンド
(・半紙)
- 粘土(ブロンズ粘土)
余っていたので使用
重くて固まる粘土ならどれでも
- アクリル
- Gクレイ(超軽量粘土)

作品完成に近づけるための工夫 (Cの子への手立て)

タブレットを使って画面に映していた画像の一部



一枚で作ろうとすると UFO みたい
になってしまう...



「3」は「2」と「4」の
間にリボンを作るために
長細いヒモを作る。「2」
のもっと細長い版)

紙を千切るときの見本の台紙

達磨本体を作るのに、新聞紙を貼り付けて制作した
新聞紙は手のひらの大きさ位、和紙代わりの半紙は指3本分くらい
と説明していたが、不安な生徒のために見本の台紙を作った



授業毎に記入する振り返りノート

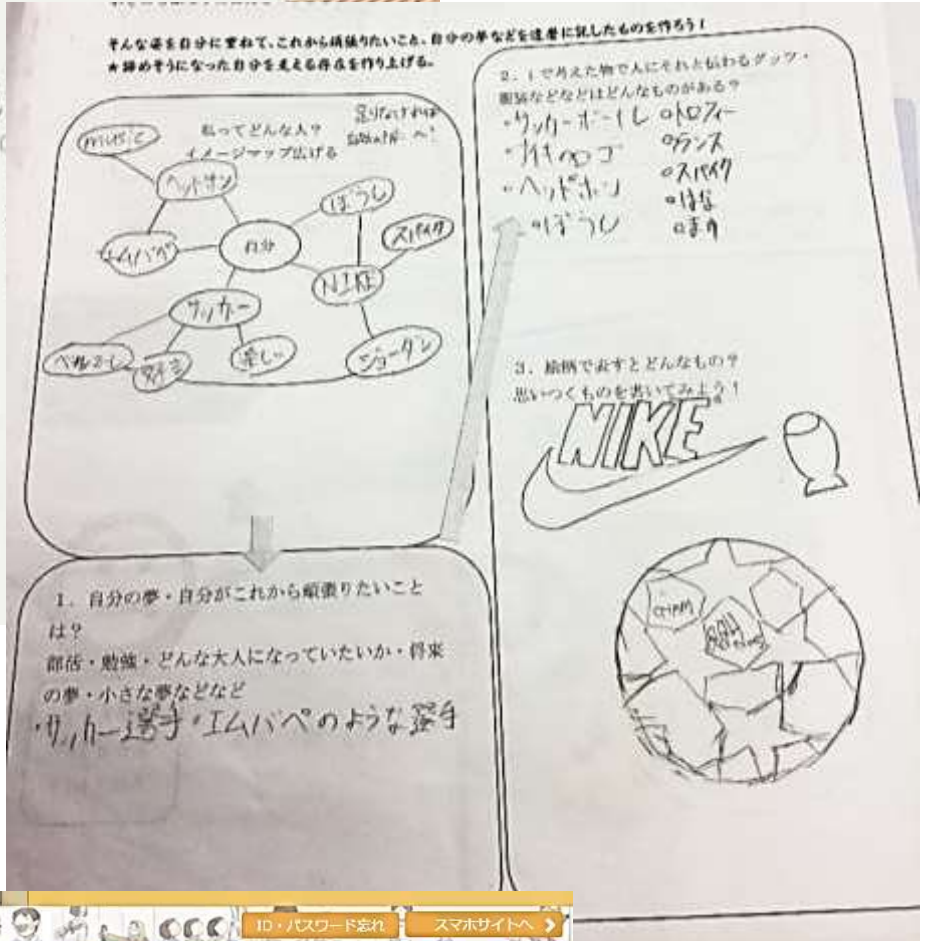
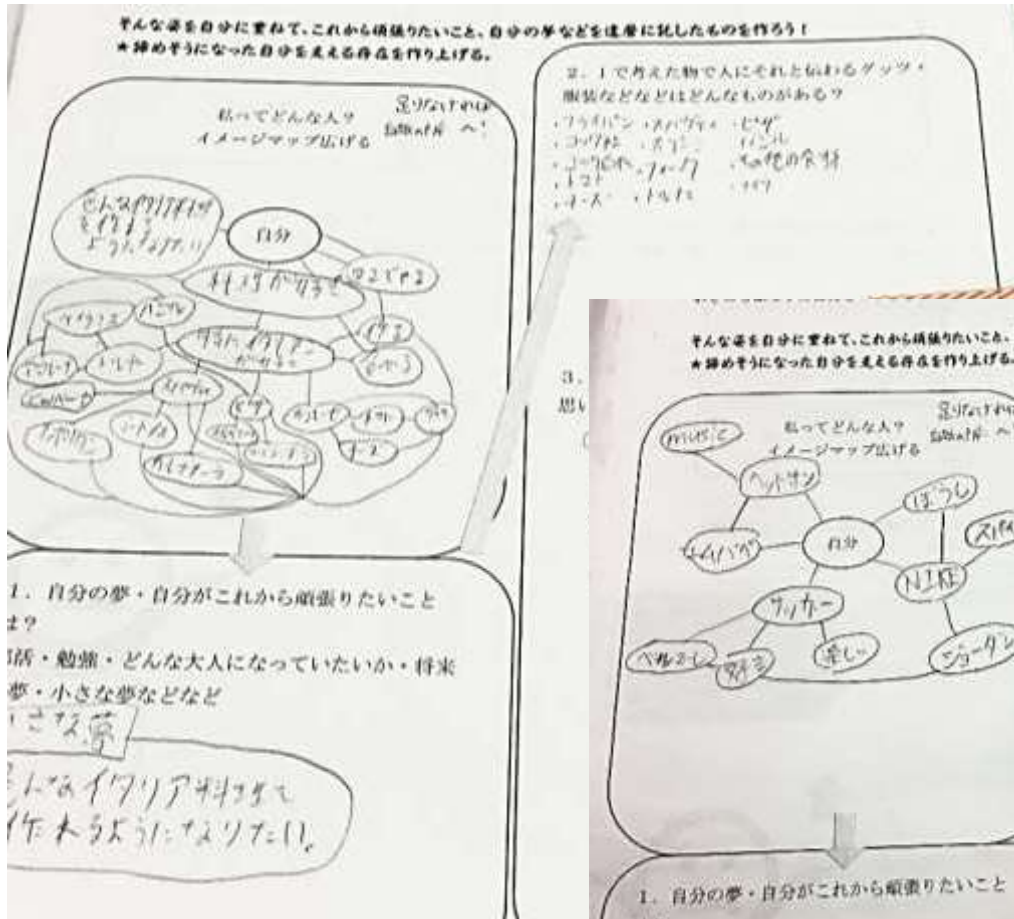
あらかじめ制作目標を入れておくことで、自分の制作進度具合がわかるように作った

日付	制作目標	自分の進捗 (達成したものと未達成)	振り返り
10/1 (水)	アイデアスケッチ 完成	100%	アイデアスケッチができていない人も、自分のアイデアスケッチが完成した。アイデアスケッチが完成した。アイデアスケッチが完成した。
10/2 (木)	改善・達磨の形作り	100%	改善・達磨の形作りが完成した。改善・達磨の形作りが完成した。改善・達磨の形作りが完成した。
10/3 (金)	達磨の形作り① (アイデアスケッチができていない人も)	70%	達磨の形作り① (アイデアスケッチができていない人も)が完成した。達磨の形作り① (アイデアスケッチができていない人も)が完成した。
10/4 (土)	達磨の形作り② (アイデアスケッチができていない人も)	100%	達磨の形作り② (アイデアスケッチができていない人も)が完成した。達磨の形作り② (アイデアスケッチができていない人も)が完成した。
10/5 (日)	達磨・向付け	100%	達磨・向付けが完成した。達磨・向付けが完成した。達磨・向付けが完成した。
10/6 (月)	達磨・完成	100%	達磨・完成が完成した。達磨・完成が完成した。達磨・完成が完成した。
10/7 (火)	達磨・完成	100%	達磨・完成が完成した。達磨・完成が完成した。達磨・完成が完成した。
10/8 (水)	達磨・完成	100%	達磨・完成が完成した。達磨・完成が完成した。達磨・完成が完成した。
10/9 (木)	達磨・完成	100%	達磨・完成が完成した。達磨・完成が完成した。達磨・完成が完成した。

日付	制作目標	自分の進捗 (達成したものと未達成)	振り返り
10/1 (水)	これらの授業の説明 調べ物の時間 (説明)	10%	これらの授業の説明 調べ物の時間 (説明)が完成した。これらの授業の説明 調べ物の時間 (説明)が完成した。
10/2 (木)	アイデアスケッチ 完成	25%	アイデアスケッチ 完成が完成した。アイデアスケッチ 完成が完成した。アイデアスケッチ 完成が完成した。
10/3 (金)	達磨の形作り① (アイデアスケッチができていない人も)	30%	達磨の形作り① (アイデアスケッチができていない人も)が完成した。達磨の形作り① (アイデアスケッチができていない人も)が完成した。
10/4 (土)	アイデアスケッチ 完成	35%	アイデアスケッチ 完成が完成した。アイデアスケッチ 完成が完成した。アイデアスケッチ 完成が完成した。
10/5 (日)	改善・達磨の形作り	40%	改善・達磨の形作りが完成した。改善・達磨の形作りが完成した。改善・達磨の形作りが完成した。
10/6 (月)	達磨の形作り② (アイデアスケッチができていない人も)	40%	達磨の形作り② (アイデアスケッチができていない人も)が完成した。達磨の形作り② (アイデアスケッチができていない人も)が完成した。
10/7 (火)	達磨・完成	40%	達磨・完成が完成した。達磨・完成が完成した。達磨・完成が完成した。

1 時間目 活用ワークシート 将来の自分(なりたい職業)を思い描けるように

自分について考える



活用した web ページ ↓



「13歳のハローワーク」というサイトを
活用して、職業を調べた。
調べ方としては、「好き」、「分野」、
「ランキング」など様々な方法で検索でき
たり、大人のインタビューもあったりす
るので、集中して調べていた。
また、その職業の達磨につけたい小
物を調べて、各自で印刷をした。

指導の工夫・・・ワークシート 11時間目の鑑賞で活用



友達の手紙

自分の班のまとめ

2年1組11

友達の手紙の姿で見つけられるね！👀👂👃👄👅👆👇👈👉👊👋👌👍👎👏👐👑👒👓👔👕👖👗👘👙👚👛👜👝👞👟👠👡👢👣👤👥👦👧👨👩👪👫👬👭👮👯👰👱👲👳👴👵👶👷👸👹👺👻👼👽👾👿👽👾👿

自分の班の
褒め方の
例→

褒め言葉	褒めポイント	褒めポイント
1. 形(顔・体・髪・目・口)	Good などと具体的に	Good などと具体的に
2. 色(髪色・肌色・服装色)	Good などと具体的に	Good などと具体的に
3. 立体的表現(立体感・質感・リアルさ)	Good などと具体的に	Good などと具体的に
4. その他(背景・構図)	Good などと具体的に	Good などと具体的に

配色について：ヘッドホンがむらさきで落ち着いた感じだった。
見た目のきれいさ：リボンが結んでいるように見えてとてもきれいだった。
などが書かれている。

褒め言葉	褒めポイント	褒めポイント
1. 形(顔・体・髪・目・口)	Good などと具体的に	Good などと具体的に
2. 色(髪色・肌色・服装色)	Good などと具体的に	Good などと具体的に
3. 立体的表現(立体感・質感・リアルさ)	Good などと具体的に	Good などと具体的に
4. その他(背景・構図)	Good などと具体的に	Good などと具体的に

番号	褒め項目	褒め言葉
3	リアルさ	全体的に人物がリアルでよく表現されている
1	立体的表現	立体的な表現が上手でリアルに描いた
1	印象	リアルな印象がリアルに描かれた
3	質感	質感がよく表現されている
1	印象	リアルな印象がリアルに描かれた
1	立体的表現	立体的な表現が上手でリアルに描いた
1	立体的表現	立体的な表現が上手でリアルに描いた
2	表現方法	表現方法が上手でリアルに描いた
2	表現方法	表現方法が上手でリアルに描いた
2	配色	配色が上手で落ち着いた感じだった
3	リアルさ	リアルさがよく表現されている
2	表現方法	表現方法が上手でリアルに描いた

友達の作品を見て、なるべくたくさん良さを見つけよう！

2年(4)期

自分の班のまとめ

友達の作品の良さをを見つけられる眼 を持つと自分の次の作品の芽を生むことになるかも！

自分の班の時の書き方

例→

1. 形(質感・印象・感情・見ためのきれいさ)	Good などとこの表現は具体的に
2. 色(配色・色味・彩度・印象・表現方法)	Good などとこの表現は具体的に
3. 立体の表現(立体的・動勢・リアルさ)	Good などとこの表現は具体的に
4. その他(作者の意図・全体の構成)	Good などとこの表現は具体的に

20番 感想文 さん107番、空白は自分で足してよい項目

21番 感想文 さん107番、空白は自分で足してよい項目

22番 感想文 さん107番、空白は自分で足してよい項目

23番 感想文 さん107番、空白は自分で足してよい項目

24番 感想文 さん107番、空白は自分で足してよい項目

25番 感想文 さん107番、空白は自分で足してよい項目

プリント左側は自分の班で話し合ったもの(このあと他の班から来た人に説明するメモにもなる)

自分の班	自分の班	自分の班
1. 形(質感・印象・感情・見ためのきれいさ)	Good などとこの表現は具体的に	色味、印象、質感、見ためのきれいさ
2. 色(配色・色味・彩度・印象・表現方法)	Good などとこの表現は具体的に	色味、印象、質感、見ためのきれいさ
3. 立体の表現(立体的・動勢・リアルさ)	Good などとこの表現は具体的に	色味、印象、質感、見ためのきれいさ
4. その他(作者の意図・全体の構成)	Good などとこの表現は具体的に	色味、印象、質感、見ためのきれいさ

班のメモ用

班員の選択項目	班員の選択項目	班員の選択項目
1. 形(質感・印象・感情・見ためのきれいさ)	2. 色(配色・色味・彩度・印象・表現方法)	3. 立体の表現(立体的・動勢・リアルさ)
4. その他(作者の意図・全体の構成)		

班員の選択項目	班員の選択項目	班員の選択項目
1. 形(質感・印象・感情・見ためのきれいさ)	2. 色(配色・色味・彩度・印象・表現方法)	3. 立体の表現(立体的・動勢・リアルさ)
4. その他(作者の意図・全体の構成)		

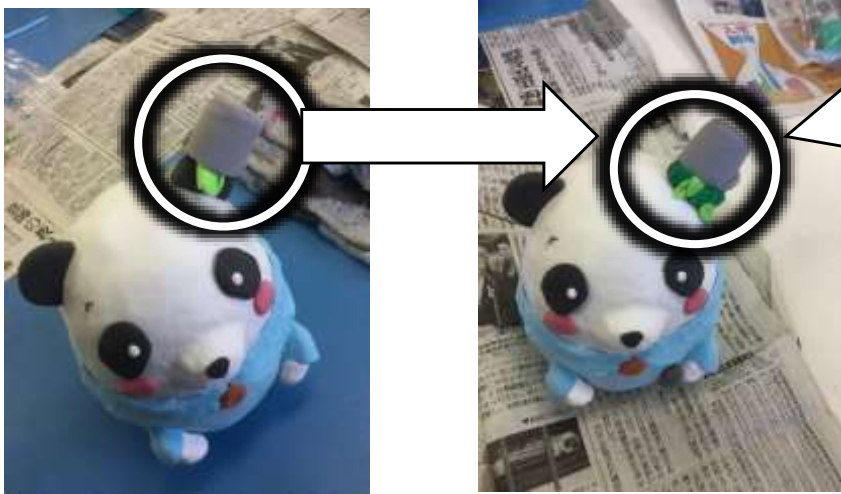
他の班に行ったら鑑賞の選択項目から単語を選んでコメントを書こう。

プリントの右側に書かれていることは付箋で貼る内容と同じものが書かれている。

班員の選択項目	班員の選択項目	班員の選択項目
1. 形(質感・印象・感情・見ためのきれいさ)	2. 色(配色・色味・彩度・印象・表現方法)	3. 立体の表現(立体的・動勢・リアルさ)
4. その他(作者の意図・全体の構成)		

生徒の変容…ワークシート(2. 3時間目の話し合いや制作過程)

制作途中での話し合い



バケツから出ている葉っぱを表現したが、話し合いで「葉っぱを一枚一枚表現し、色を変えてみたら」とアドバイスもらい変化

ワークシート

私の作ったダルマのテーマは		お助けアドバイスください！	
名前	2人組	です。(具体的なアドバイスをあげよう)	
中野のよしのこ	中野のよしのこ	月夜をテーマに	1枚一枚の葉っぱを表現し、色を変えてみたら
トリアー	トリアー	トリアー	トリアー

順序2
もらったアドバイス

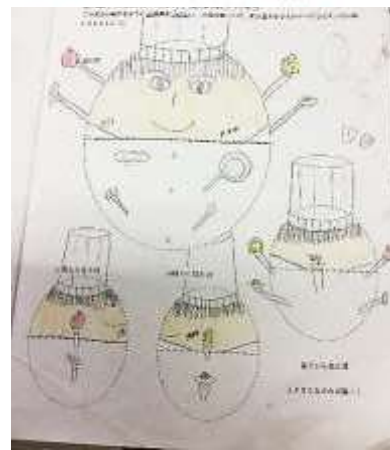
お助けアドバイスを受け、改めて考えてみて... (5/14)
【自分がやりたいものがある場合はアドバイス通りに変えなくてよいです】
必ず紙の上に立体物を取り入れること。(胸や鼻以外にグリップなど)
下の部分は紙がするように広げます。(本体は軽いので、何か重さのあるものをつけてお持ちに願っています。)



アドバイスを参考に考えたアイデアスケッチ



第一段階で自分が考えたアイデア

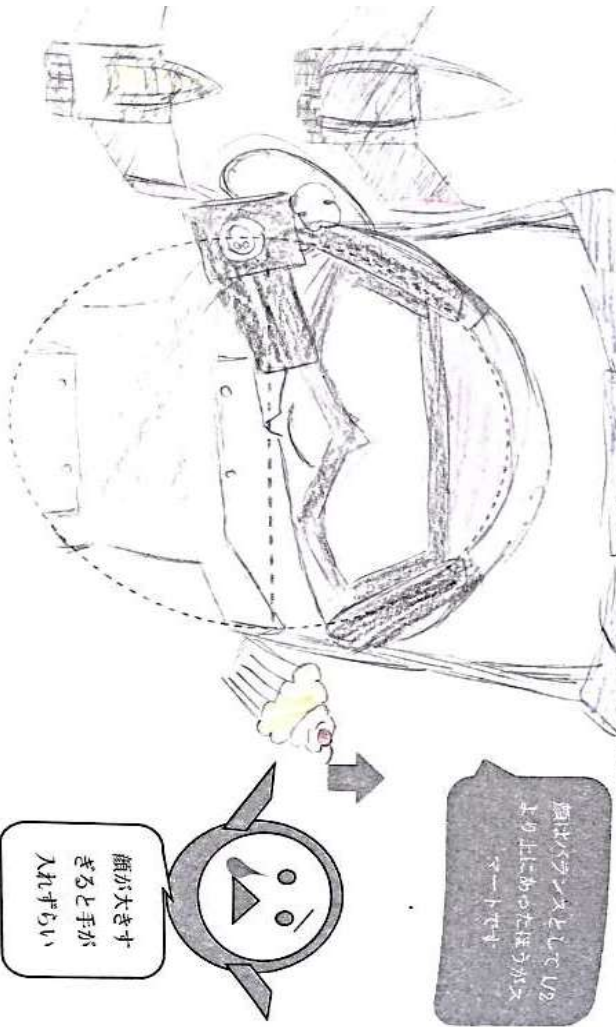


私の作ったガルのテーマは
 さうえい、飛行、デザインを語りたいです。(具体的なアイデアを教えてください)

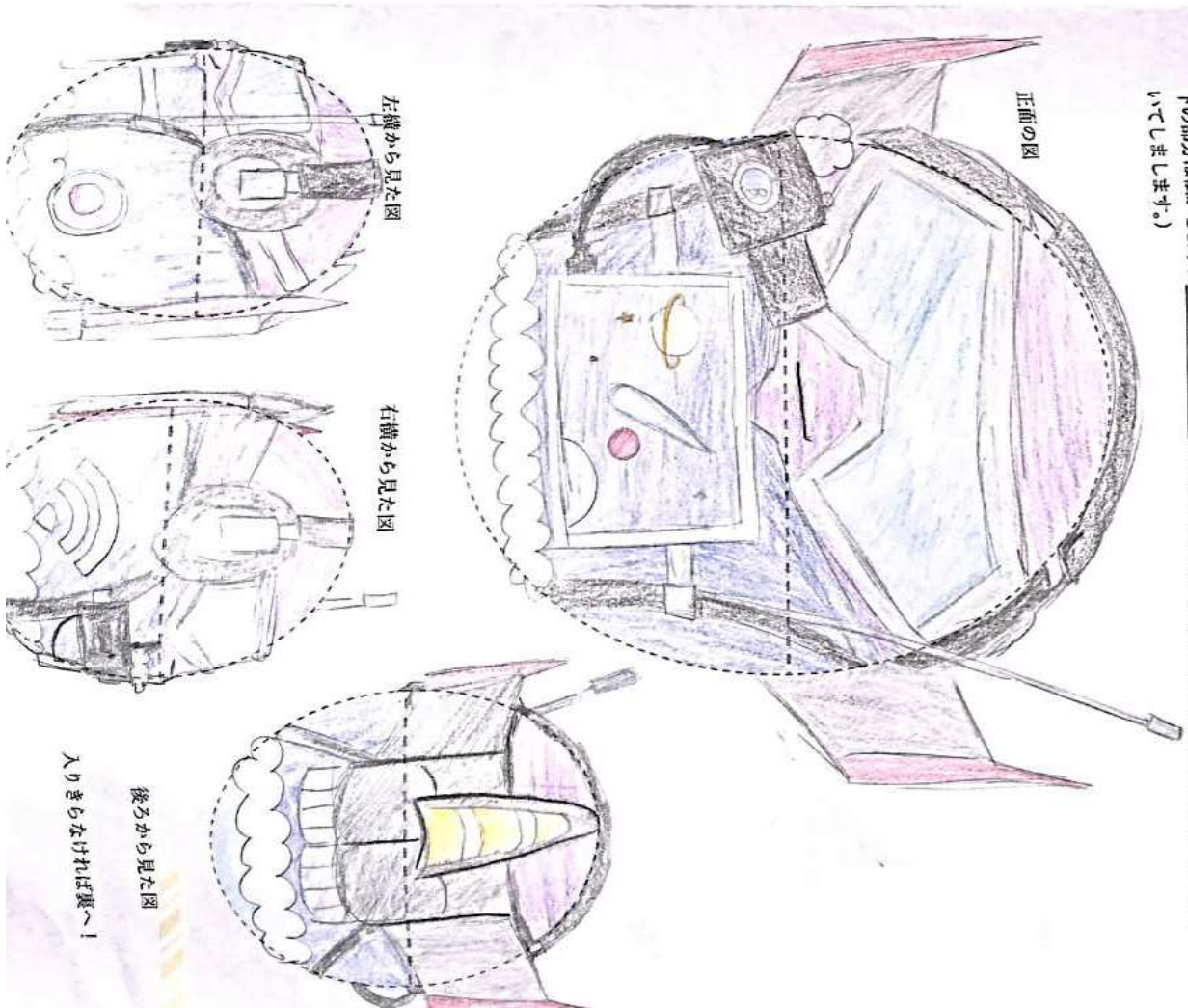
お題がアビエイズください！

<p>・パナソニックの物から「思い」を抽出した存在を「思い」で表現。</p>	<p>排材に「パナソニック」で、カラーリングは、パナソニックのカラーリングをイメージ。</p>	<p>テーマワークにする全体がまとまるように。</p>
<p>5番</p>	<p>このお題が、パナソニックのイメージ。</p>	<p>番氏名</p>

必ず紙粘上で立体物を取り入れること。(脚や鼻以外にグッツなど) 下の部分は転がるように立体物をつけない。(本体は軽いので、何か重すぎるものをつけるとそつちに傾いてしまいます)

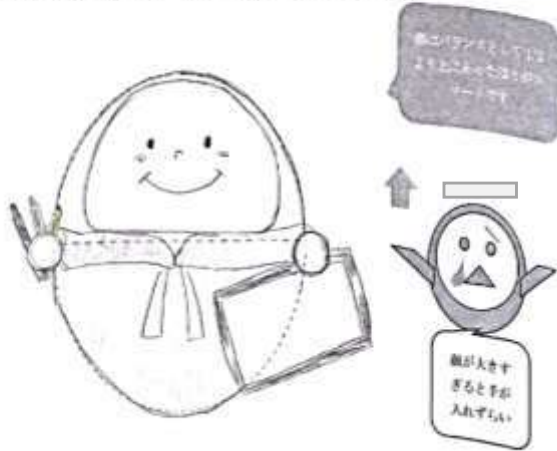


お題がアビエイズを受け、改めて考えてみて...
 【※自分がやりたいものがあればアビエイズ廻りに変えなくてよいです】
 必ず紙粘上で立体物を取り入れること。(脚や鼻以外にグッツなど)
 下の部分は転がるように立体物をつけたい (本体は軽いので、何か重すぎるものをつけるとそつちに傾いてしまいます。)

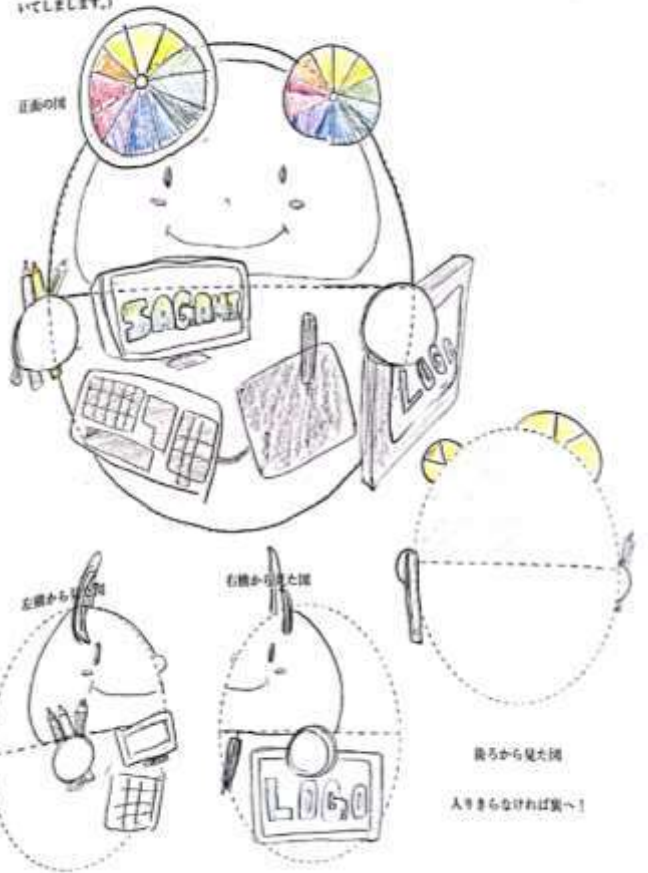


私の作ったダルマのテーマは 香取屋のデコイソ系の行事		お助けアドバイスください！ です。(具体的なアドバイスをあげよう)
1 ■ 氏名		
クワシの香取屋の行事 とかがよいい感じだ	顔の色がカラフルな色で うまい	ふんわりとした感じがほしい いけてるよ。
2 ■ 氏名		
香取屋の行事をモチーフ にしたい 障子やデコイソ系を取り入れ たい	白と黒のコントラストが いいと思う 障子やデコイソ系を取り入れ たい	白と黒のコントラストが いいと思う 障子やデコイソ系を取り入れ たい

必ず顔誌上で立作物を取り入れること。(胸や鼻以外にダックなど) 下の部分は恥がるように立作物をつけない。(本体は軽いので、何か重すぎるものをつけるとそっちに傾いてしまいます。)



お助けアドバイスを受け、改めて考えてみて...
【お自分がやりたいものがある場合はアドバイス通りに変えなくてよいです】
必ず顔誌上で立作物を取り入れること。(胸や鼻以外にダックなど)
下の部分は恥がるように立作物をつけない。(本体は軽いので、何か重すぎるものをつけるとそっちに傾いてしまいます。)

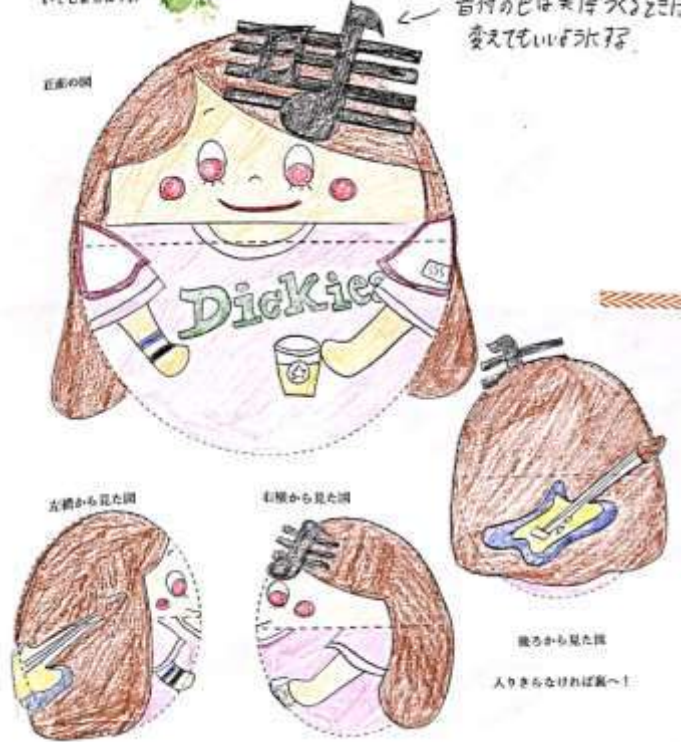


私の作ったダルマのテーマは ライブミュージックの行事		お助けアドバイスください！ です。(具体的なアドバイスをあげよう)
1 ■ 氏名		
ライブミュージックの行事 とかがよいい感じだ	ライブミュージックの行事 とかがよいい感じだ	ライブミュージックの行事 とかがよいい感じだ
2 ■ 氏名		
ライブミュージックの行事 とかがよいい感じだ	ライブミュージックの行事 とかがよいい感じだ	ライブミュージックの行事 とかがよいい感じだ

必ず顔誌上で立作物を取り入れること。(胸や鼻以外にダックなど) 下の部分は恥がるように立作物をつけない。(本体は軽いので、何か重すぎるものをつけるとそっちに傾いてしまいます。)



お助けアドバイスを受け、改めて考えてみて...
【お自分がやりたいものがある場合はアドバイス通りに変えなくてよいです】
必ず顔誌上で立作物を取り入れること。(胸や鼻以外にダックなど)
下の部分は恥がるように立作物をつけない。(本体は軽いので、何か重すぎるものをつけるとそっちに傾いてしまいます。)



成果と課題

成果

仮説について 話し合いを通して。。。。

① **発想が広がるのでは**…発想は人によって経験や考え方が違うことを理解し、他の人の意見や考えを聞きより視野を広げることでひらめきを得るきっかけになるのではないかと。

また、制作中に少しの時間でも人に制作のコツや感想を聞くことでよりよい作品作りへと意識を変えることができるのではないかと。

→一人で考えて作業を進めてくと発想が豊かな生徒と苦手意識を持った生徒の差がかなり開いてしまうが、今回は自分一人ではないという自信もあってか、作業に取り掛かる生徒が多かった。制作途中に同じテーブルの人の作品を見て、意見交換する時間をとったが、その際には積極的に質問したり、アドバイスをしたりする姿があり、次回への課題をもって制作に取り組んでいた。鑑賞を通して、協働的な学びや言語活動の活性化は図れた。制作過程の学びを大切にできた。

生徒の感想より ◎は生徒の感想から抜粋

◎僕は目立った小物とかがなかったけど、人によっては本来は小さいけど重要な物を大きくして強調したりして、いろんな個性が感じられた。

◎自分の作品がどのようにすればうまく出来上がるのかを先生のアドバイスや班員との話し合いを聞く、話すことで考えられた。

◎特にこれといった特徴やモチーフはなく、そう表現すべきかずっと悩みながらアイディアスケッチをしていました。描いてから話し合いのアドバイスをもらって少しずつまとまってきました。

◎鑑賞・話し合いで学んだことは色々な人に見てもらったり、ほかの人の作品を見たりすると、自分では気づかなかった工夫や課題、その作品のいいところに気づけることです。他の人の作品を見ていると耳をボールにしたり、体に立体的にコートをつけたりと自分のテーマを色々なところにちりばめて見ている人にわかるようにと工夫しているところをたくさん見つけることができ、これからの作品作りに生かしていこうと思いました。

◎アイディアスケッチの話し合いで感じた事は、他の人に自分の考えを見せることでたくさんのアドバイスをもらえることで、実際に班の人からたくさんのアドバイスをもらい、ただのコスプレダルマの感じをなくすことができました。(ただ単に職業のユニフォームを着せるだけの達磨はダメだよ、と指導していたので出た言葉)

②自分の作品に自信を持てるのでは

…作品への意識づけとともに、自分の作品を肯定してもらうことで作品への自信がわき、愛着が持てるのではないかと。

→授業のところで話合いの時間をとり、班の人に話すことで自分の思考が整理されて普段なかなか作品を完成させられない生徒も悩みながらも一生懸命取り組んでいる姿がみられた。

鑑賞の時間に人に褒めてもらう付箋を使うことで、お互いを認め合うことができていた。言語活動を通して共に学び、高め合っていくという姿勢が養われたように感じた。

生徒の感想より ◎は生徒の感想から抜粋

◎私の作品では、「立体的」というコメントが多かったけど、中には「バランスがいい」や「色がいい」などのコメントもあって、**自信をもてるようになりました。**

◎**しっかりと自分で考えて作る**ことで、作品の見た目は少し良くないかもしれないけど、それ以前に制作者の苦勞が伝わりいい作品になることを学んだ。

◎私はどうしても“将来の自分”や“夢”となると「人」という概念にとらわれがちになってしまう節があります。しかし同じ班のこの作品は腕がたくさんついていたり、背中にコートをつけていたり、とふつうの人とはかけ離れた形でした。私も**自分の考え方を一回崩して新しい考え方をすることで今までになかった工夫など**ができるようになる気がしました。

◎制作の途中で、「バッチはその仕事のアピールポイントだから大きくしてみよう」や「自分の好きな色を使って自分らしくしよう」等の**新しいアイデアが出てきました**。そのため、初めのころより作品に**将来の自分を重ねてつくることができた**。

◎アイデアスケッチの話合いをすることによって最初のアイデアより**友達の見解を聞くことにとって良いアイデアスケッチ**となりました。**最初は目など小さく全然インパクトがなかったので、途中で目など眉毛を大きくしてインパクトを強くしました。**

◎ダルマの体につける羽はすべて同じ色でしたが、作品を作っていく上で羽をカラフルにしたほうが、色鮮やかになるのではないかと思い、それを実際に実行したことで、今日の鑑賞で「色鮮やかでいい！」といった意見を複数もらうことができました。そのことから私は作品を考えながら**制作していくことの楽しさを感じる**ことができました。

◎みんなの鑑賞を見て、私があまり意識していない顔とか色合いなど人それぞれで良いなと思った。今回の制作は**みんなレベルが高くて自分も背景も細かくかけたから成長したと思う**。とくにコンパスが大変で、完成したときは嬉しかったです。

課題

- 想いが強く、こだわりがある生徒は中々前に進むことができなかった。
→失敗を恐れないことをもっと示すべきであった。余分に材料を準備しておくことも必要だと感じた。
- 最低限に必要な作業を精査する
- 話し合いをしっかりとさせ、振り返りをさせるには時間が足りない。1時間の授業の中で説明、準備、片付けを抜くと、実質制作時間は35分ほどになってしまう。その中で学習班（4人）とはいえ、全員が話す機会を設けるとなると余裕を持った取り組みは実に難しく感じた。今回はその中でも、話しをした後のメモする用紙などを用意していなかったため、次回の制作までに時間が空くと前回話し合った内容が生きてこなくなってしまう。
- 最後の鑑賞のやり方は事前に何回か取り組んでいるとスムーズに行えるが、1時間で行うには説明して鑑賞して記入するという時間設定が難しく感じた。
- 鑑賞をして作品について深く考え、批評するということまではいかず意見発表会のようになってしまった。いいところを探して伝えることで終わってしまったので、相互鑑賞会というより意見発表会の割合が強くなってしまった。

参考文献

- 「中学校学習指導要領解説 美術編」 著作権所有 文部科学省 発行所 日本文教出版株式会社
「評価基準の作成、評価方法等の工夫改善のための参考資料（中学校 美術）」
著作権所有 国立教育政策研究所 発行所 教育課程研究センター
活用 web ページ 「13歳のハローワーク公式サイト」 <https://13hw.com/home/index.html>

2018年度 美術科 年間指導計画

	時数	1年	時数	2年	時数	3年
4	1	オリエンテーション	2	デッサン	1	オリエンテーション一点透視図法
	3	鉛筆の使い方について・デッサン	2	和柄の鑑賞	1	二点透視図法について
				デザインの要素美について		
5	5	色彩について	2	鑑賞 西洋	11	遠近法を用いた平面構成
		他己紹介カラーチャート		オリジナル和柄デザイン		
	レタリング	11	ハンコの作成・構成(彫刻)	1		
6	1	鑑賞				平面構成着彩
	4	クラスのマークデザイン				
7	4					
8			2	鑑賞 西洋		
9	2	鑑賞 西洋			1	篆刻について
					4	篆刻印面デザイン&制作
10	12	空想缶詰(塑像)	11	達磨づくり 私の小さな分身	2	鑑賞 西洋
11						
12					11	篆刻持ち手(彫刻)
1	2	鑑賞 日本の伝統工芸	3	鑑賞 日本画鑑賞		
	8	堆朱(工芸)		達磨づくり私の小さな分身続き	1	日本画鑑賞
2					2	屏風デザイン 私の想いを託す神様
3	1	鑑賞	2	鑑賞		